

大四日市まつりなどのあり方を考える市民会議 素案骨子

素案骨子の考え方

大四日市まつりを、市民参加・参画がより体感できる“場”とする。また、企画が多岐にわたり総花的で、対外的な発信力が弱いとの指摘もあるため、思い切って企画を絞り込み、大四日市まつりの特徴を明確にする。

- ①幼児から大人まで幅広い出演者層がいる「おどりフェスタ」を、より気軽に参加できる夏の元気なレクリエーションとして定着・発展させる。
- ②中心部だけでなく地域の代表的祭りの出演により、地域に伝わる文化を次代に継承する。

主要企画

「おどりフェスタ」→現行のコンテスト部門のほか、一般参加部門を創設する。
一般参加部門には、「市民総踊り」・「市民の夕べ」参加者の移行を呼びかける。
「諏訪太鼓競演」→コンテスト形式を取り入れる(音による生活環境への影響に注意)。
「郷土文化財行列」→「(仮)郷土文化財芸能」と名称変更し、該当年に種類別出演。

例:①鯨船(南納屋・富田・磯津・楠)

- ②化身と獅子舞(大入道、岩戸山、狐の嫁入り、
浜田・市場町・御館・椿岸神社・立阪神社の獅子舞(ほか))

- ③鉦と太鼓(大念仏、天ヶ須賀・松原の石取まつり、けんか祭り、虫送り、天王まつり、
お諏訪おどり、つんつくおどり(ほか))

- ④からくり山車(菅公、甕破り、大入道、岩戸山)

- ⑤総出演

黄色は現在「郷土文化財行列」出演中のもの

水色は現在「郷土文化財民謡と獅子舞」に出演中のもの

昼間の出演のみとし、踊り企画への出演・夜間出演など特別な演出はしない。

また、希望する山車等の出演は妨げない。

その他の企画

「献花式」→存続。

「Kai-kou」→主要企画と融合する形で存続。

「港まつり」→四日市港管理組合の行事として独立。

「郷土文化財民謡と獅子舞」→「(仮)郷土文化財芸能」と名称変更し、該当年に種類別出演。

「ドリームパレード」

「みんなで楽しもうお祭り広場」

「商品祭」

「市民総踊り」

「市民の夕べ」

→ 主要企画に注力するため、5企画とも実行委員会行事としては行わない。ただし、市民主体の協賛行事として実施する場合は、広報掲載などでPRを行う。

「(仮)市民による食の企画」→香具師との混在を避け、実現に向け条件を整備する。

時期

第1案として、8月第2週の土日。第2案は、7月最終土日。

変更の理由:石取祭(桑名市)やすずかフェスティバル(鈴鹿市)との重複を避け、主に若年層の担い手増強を目指す。

場所

現行の三滝通り・諏訪新道交差点(市役所周辺への拡大あり)のほか、市民公園を活用する。